

令和6年度(7年産)ビール大麦等生育概況③

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

調査日：令和7(2025)年3月4日

(調査基準日3月5日)

- 今後気温が平年より高く推移した場合、茎立期は平年並～やや遅くなると予測される。
- ニューサチホゴールドデンの幼穂長は9.2mm(平年比91%)である(3月4日現在)。
- 引き続き湿害対策としてほ場の排水対策を行う。

1. ニューサチホゴールドデンの茎立期予測

本年産の農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールドデンの茎立期(3月4日現在、令和6年11月8日播種)について、本品種の過去の幼穂長や茎立期、茎立期までの積算温度との相関関係から予測した^{注1}。その結果、今後気温が平年並に推移した場合は平年より3日遅い3月18日、平年+1℃の場合は3月17日(平年+2日)、平年+2℃の場合は3月15日(平年±0日)、平年-1℃の場合は3月20日(平年+5日)と予測された。

表1. 農研センター本場(宇都宮市)におけるニューサチホゴールドデンの茎立期予測(3/5現在、11月8日播種)

今後の気温	茎立期予測日	平年 ^{注2} 差
平年-1℃	3月20日	+5日
平年並推移	3月18日	+3日
平年+1℃	3月17日	+2日
平年+2℃	3月15日	0日

注1. 茎立期予測は、ニューサチホゴールドデンの9年間の累積データを用いて実施した。

注2. 茎立期平年値: 3月15日(令和5年度を除く平成25年から令和4年度までの10年間の平均値)。

2. 前回調査から今回調査までの気象概況(2月21日～3月4日)

宇都宮市の平均気温は平年並の5.4℃(平年差+0.1℃)であった。降水量は28mm(平年比93.3%)と平年よりやや少なく、日照時間は平年並であった(平年比99.8%)。

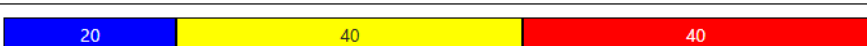
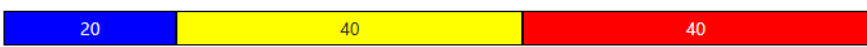
3. 3月4日の生育概況 農研センター本場(宇都宮市)

農研センター本場(宇都宮市)のニューサチホゴールドデンの生育は、平年に比べ草丈は95%、茎数は162%であり、葉齢は0.7枚多かった。葉色値(SPAD)は平年比114%であった。幼穂長は91%、幼穂長は98%、幼穂分化程度は「IX後期」～「X期」の段階であった。

4. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和7年2月27日発表より引用）

●天候:天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

- ・平均気温：平年より高い確率が50%。
- ・降水量：平年並または多い確率ともに40%
- ・日照時間：平年並または少ない確率ともに40%

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 03/01～03/28	
		1週目 03/01～03/07	
		2週目 03/08～03/14	
		3～4週目 03/15～03/28	
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 03/01～03/28	
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 03/01～03/28	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

5. 今後の管理

1) 踏圧（麦踏み）

茎立期直前までに1～2回実施するのが望ましい。幼穂長は十分目視できるので、確認した上で作業を行う。幼穂長が2cmになったら行わない。

ほ場が高水分状態で踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。

2) 排水対策

今後の降水に備え、できるだけ早期に明きよの整備を行う。

整備のポイント

- ①明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。
- ②溝が土や泥等で埋まっていない（埋まっていたらさらう）。

出穂期以降の湿害は、生育遅延、枯熟れ等で収量や整粒歩合の低下、細麦など子実の充実を著しく阻害するため、適切な排水対策を行う。

3) 雑草対策

今後気温が高くなるにつれ徐々に雑草が大きくなってくる。雑草が多いほ場では、時期を逃さないよう除草剤を使用し、早めの雑草防除を行う。

●農薬は使用前にラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使う●

【耕種概要等】

供試品種：ニューサチホゴールデン、シュンライ、さとのそら

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齢、葉色、NDVI)

抜取調査(幼穂長、幼穂分化程度)

播種期：令和6年11月8日(前年11月16日・平成11月6日)、11月19日(ニューサチホゴールデンのみ)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定(10aあたり約9.5kg)

土壌分類：表層多腐植質黒ボク土

施肥：	施肥量(kg/10a)				備考
	N	P	K		
基肥	5.0	6.4	5.0	BBビール麦エース	14-18-14 35.7kg/10a
※前作は水稻青刈りすき込み、堆肥1.0t/10aを施用					
※重焼燐2号280kg/10a、塩化加里20kg/10aを施用					
※2月20日現在、追肥は行っていない					

踏圧 11月8日播種区：12月6日、12月25日、1月10日、1月27日、2月21日
11月19日播種区：1月10日、1月27日、2月21日

表2. 調査結果

農研センター本場(宇都宮市)における生育概況

品種名	年度	草丈	茎数	葉齢	葉色	正規化 植生指数	幼穂長	幼穂長	幼穂 分化程度
		cm	本/m ²		SPAD	NDVI	mm	mm	
ニューサチホ ゴールデン (11/8播種区)	本年	16.9	2626	8.1	48.1	0.69	9.2	3.5	9.5
	平年	17.8	1618	7.4	42.2	0.61	10.1	3.5	9.1
	平年比・差	95%	162%	+0.7	114%	113%	91%	98%	+0.4
	(参考)前年	18.1	2176	7.5	37.5	0.52	3.3	2.9	9.0
ニューサチホ ゴールデン (11/19播種区)	本年	12.6	1613	6.5	47.2	0.60	5.4	2.3	9.1
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年比・差	-	-	-	-	-	-	-	-
	(参考)前年	-	-	-	-	-	-	-	-
シュンライ	本年	10.2	1918	7.3	50.1	0.65	4.7	2.1	7.8
	平年	12.9	1258	6.8	47.6	0.60	5.9	2.0	7.2
	平年比・差	79%	152%	+0.5	105%	107%	78%	106%	+0.6
	(参考)前年	13.0	1861	7.2	43.4	0.59	2.9	2.2	7.0
さとのそら	本年	11.9	2086	8.0	43.7	0.68	4.8	1.3	7.0
	平年	16.1	1626	7.8	47.6	0.65	7.1	1.4	5.9
	平年比・差	74%	128%	+0.2	92%	105%	68%	89%	+1.1
	(参考)前年	13.9	2002	7.3	42.6	0.57	2.8	1.5	6.0

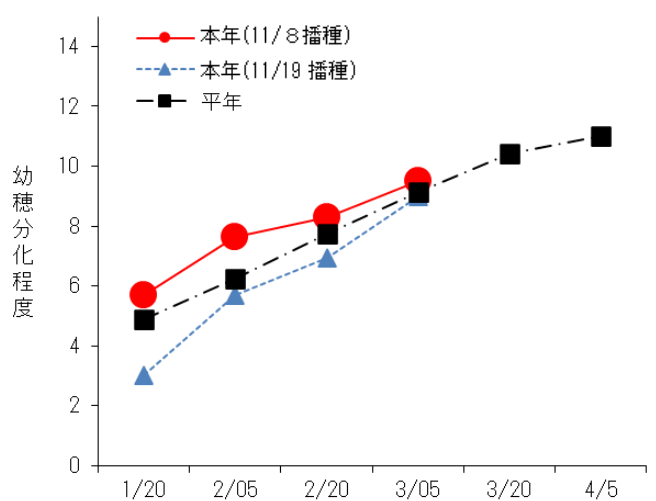
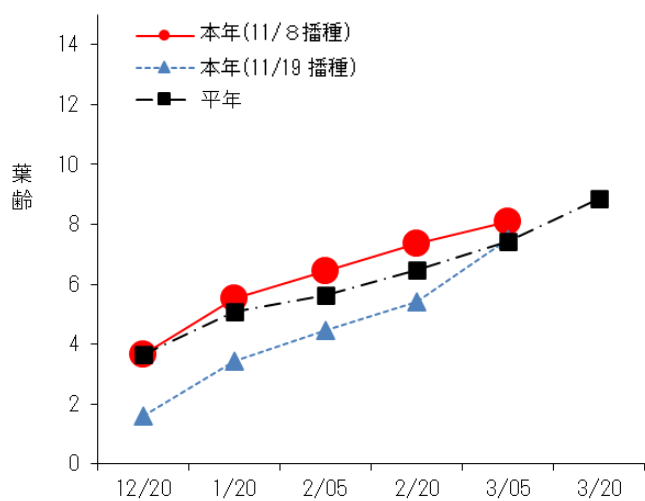
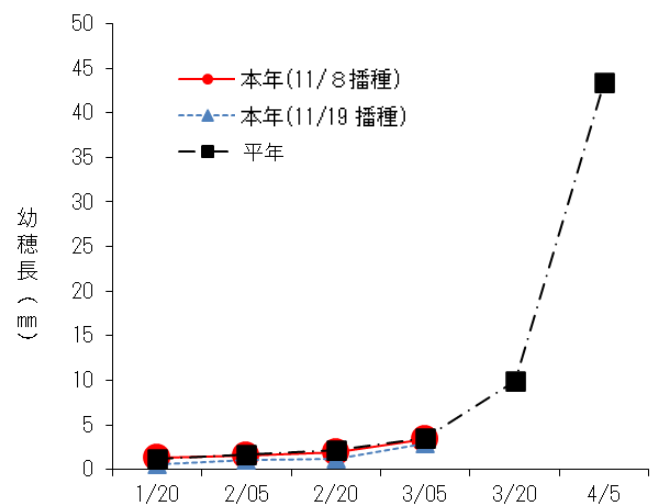
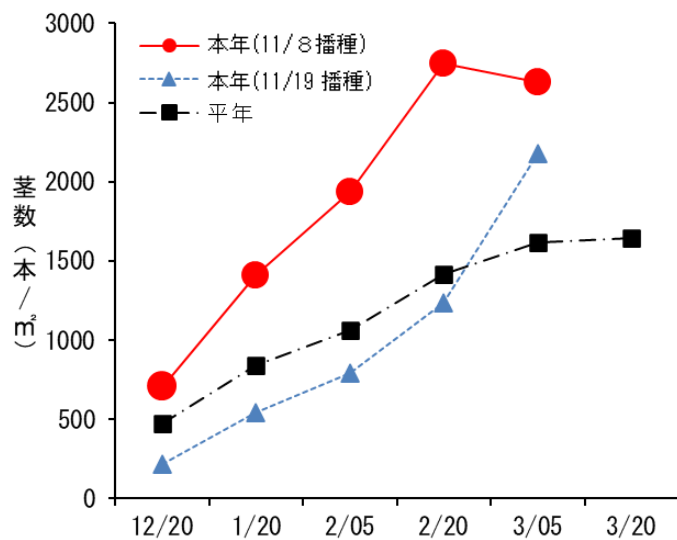
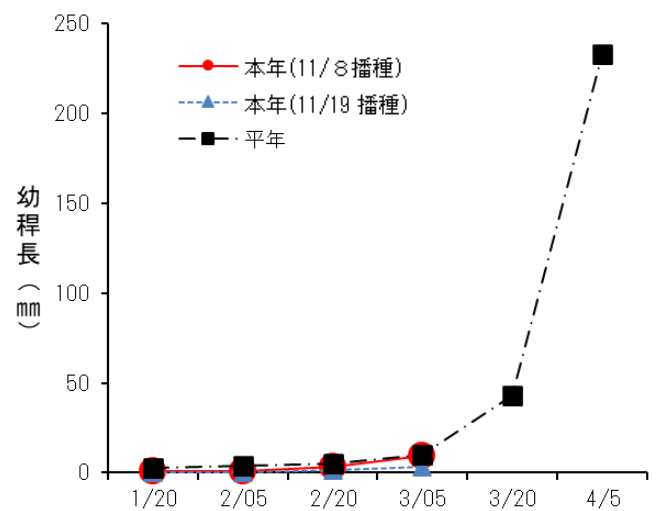
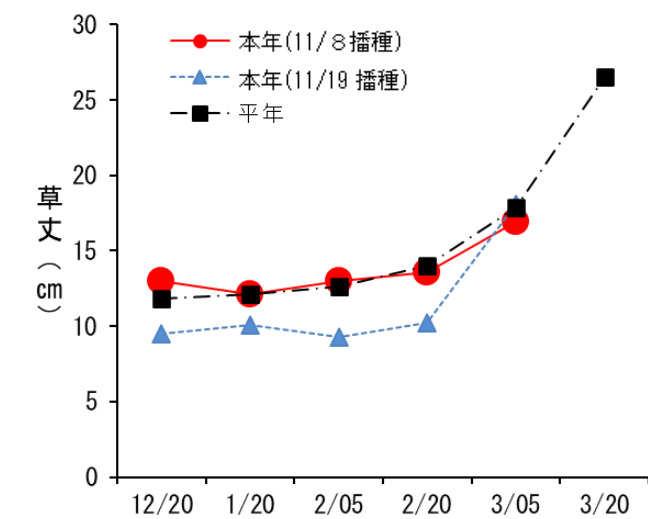
注)NDVI:植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの。

注)小数点以下第2位を四捨五入しており、実際の差と一致しない場合がある。

※平年値:ニューサチホゴールデン(11/8播種区)は平成25年～令和4年度(10年間)の平均値。その内NDVIは平成29年～令和4年度(6年間)の平均値、ニューサチホゴールデン(11/19播種区)は初年度のため平年値はなし。シュンライ、さとのそらは令和元年～令和4年度(4年間)の平均値。

※令和5年度は参考値(播種が平年より10日遅れたため、平年値から除く)。

【ニューサチホゴールデン生育調査結果（農研センター本場）】



【気象概況】

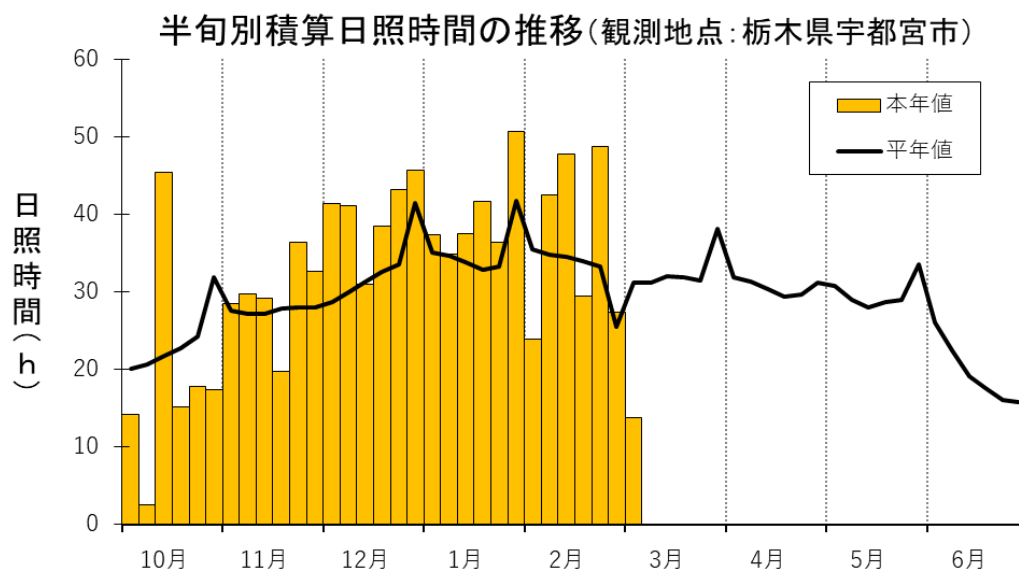
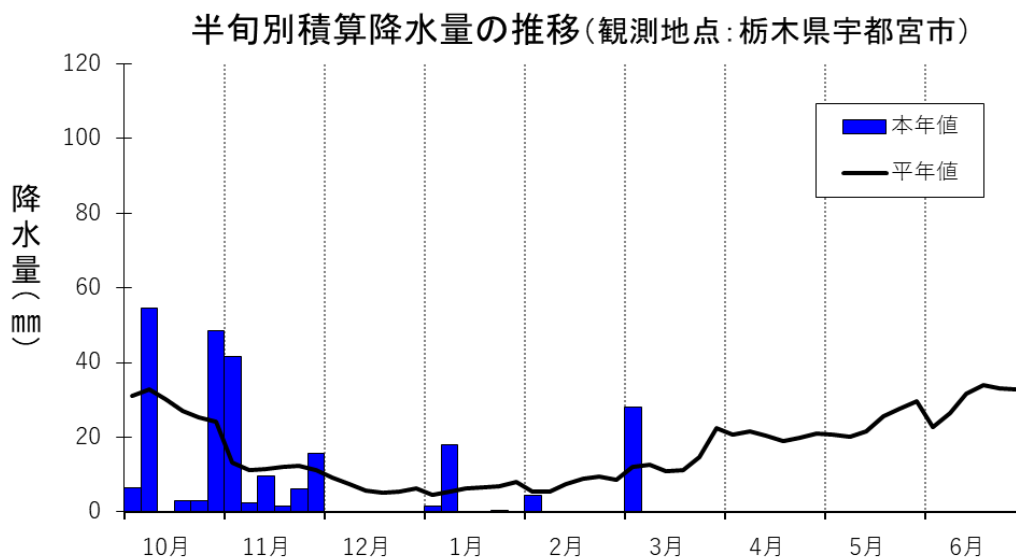
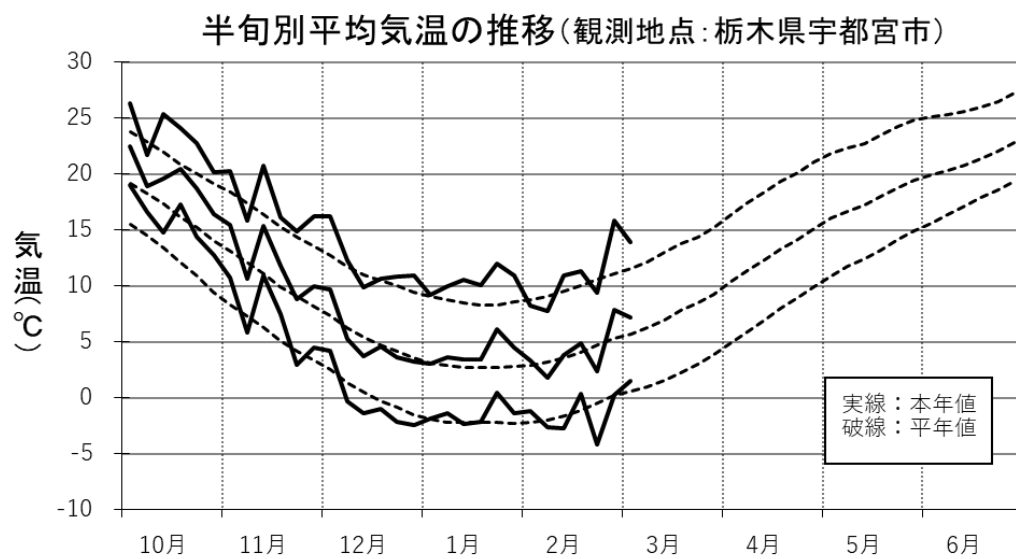




写真1 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2024年11月8日播種 2025年3月4日撮影



写真2 ニューサチホゴールドの生育状況
農研センター本場 2024年11月19日播種 2025年3月4日撮影